



## 自己改革の進捗状況

(平成30年度 現状抜粋版)

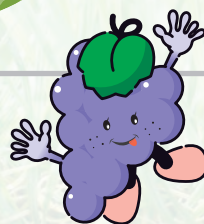
同封のアンケートにご協力いただくに際しまして、当JAにおける自己改革の進捗の一部をご紹介します。  
本チラシ(裏面に付けて)にて、JAグループ全体で掲げる3つの基本目標「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に沿いまして、各目標における平成30年度の主だった取り組みを掲載しております。  
ご一読いただけますと幸いです。

3つの  
基本目標

農業者の  
所得増大

農業生産  
の  
拡大

地域の  
活性化



### 地元コシヒカリの直販取引開始 地元企業と協力し地産地消促進

8月31日、スーパーマーケットチェーンの㈱ドミーと協力し、当JA管内(岡崎市と幸田町)の新米を同社36店舗で発売しました。ドミーではこれまでの愛知県産商品から、より身近な商品の取扱いとなりました。品種は「コシヒカリ」と「あいちのかおり」で各5kg・10kgの4商品です。

当JAにとって確実な売り先の確保、ドミーにとって他店との差別化、双方にとって地産地消の促進など複数のメリットがあり販売に至りました。

当JAでは引き続き、直販取引等の取組みを進め、新たな売り先の確保と安定出荷に努めます。

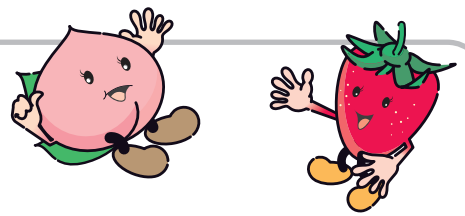
農業者の  
所得増大



新米「コシヒカリ」を持つ  
JA新家常務Ⓞとドミー梶川社長



JA役職員がドミー本社を訪問し、  
今後の販促などを話し合いました。



## イチゴ産地活性化に向けて 新規就農者研修説明会を開催

10月27日、イチゴ農家を目指す新規就農希望者を対象に、研修事業説明会を開催しました。当JAが地域農業振興や自己改革の根幹に据える新事業「イチゴ新規就農者支援対策事業」における取り組みです。

説明会は就農を目指す4組6人が参加し、事業の詳細や研修内容、今後のスケジュールを説明しました。

就農希望者は農家体験や本面接を経て4月から事業の研修生となり、当JAが新設する研修用イチゴハウスを活用して就農を目指します。JAとしてはその後も引き続き、そのほかの品目での展開を視野に入れながら、新たな生産者の育成・定着に努めます。

農業生産の拡大



研修事業説明会



就農希望者募集チラシ



## 移動金融店舗車・移動購買店舗車の導入 山間地のくらしサポート



10月1日より移動金融店舗車「ちょリス号」と移動購買店舗車「ほたる号」が稼動しました。高齢者など支店への来店や買い物が困難な組合員や地域住民に対するくらしのサポートが目的で、山間地を中心に巡回しています。

「ちょリス号」は、車内にて入出金や通帳記入など一部の手続きが可能です。

「ほたる号」は「幸田憩の農園」に並ぶ農産物や生鮮品、調味料、日用品など約280品を販売します。同JAは4月から、対象地区への事前説明会を開催しながら、巡回場所の見直しを重ねてきました。今後は、地域の実情変化による見直しを検討しつつ、地域に密着した「身近なJA」で在り続けます。

地域の活性化



ちょリス号外観と車内での手続きの様子



ほたる号での買い物風景

